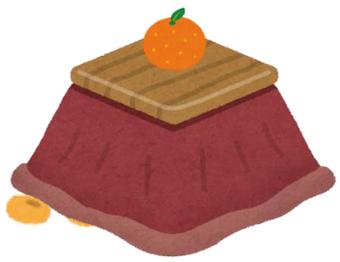


かみねっちょ新聞



令和6年 2月号

獣医師 川瀬

冬の虫を観察するよ！

近頃とっても寒くなってきましたね。少し前（1月初旬ごろ）にご来園されたお客さんから「虫、いないね〜」という会話が聞こえてきました。園内は植栽など緑地も多く、春から秋ごろまで様々な昆虫が観察できます。そんな昆虫たちも、冬の間はめっきり見なくなります。しかし！昆虫はいるところにいるのです。そんな昆虫たちを本号では紹介しようと思います。



『クロスジホソサジヨコバイ』

セミに近い仲間。園内のヤツデの葉の裏に結構います。幼虫もたくさんいます。5mmくらい



『ベダリアテントウ』の幼虫

肉食のテントウムシ。カイガラムシを捕食します。幼虫が数多く観察できました。5mmくらい



『クロオビフユナミシャク』

「フユシャク」(蛾)の仲間。冬に成虫が観察できるよ。メスは羽が退化して飛べません。2cmくらい



『冬眠中のみなさま』

ヒメアカホシテントウ、クロハナカメムシ。ケヤキの樹皮の裏でお休み中でした。ともに5mm前後くらい

ほくらのうみだより vol. 11

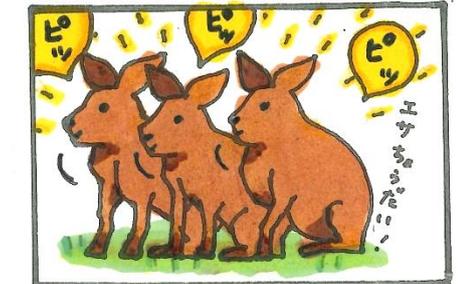
2016年からどうぶつ資料館で始まった、日立の海で捕まえた生き物を展示する日本一小さな水族館「ほくらのうみ」から、オモシロ情報をお届けします！今回はお洒落なカニのお話です！



「ヨツハモガニ」
磯場や岩礁に生息するカニの仲間。海藻を切り取って甲に付けて、カムフラージュする。雑食性で、海藻類や水生生物を食べる。



冬の海で生きものを探していると、小さな海藻が移動しているのを見つけてました。よく見るとカニが背中に海藻を背負っていました。捕まえて動物園で飼育してみると、餌の煮干しやワカメなど色々なものを背中につけていました。はさみで器用に切ったり貼ったりするのがとても面白かったです。



3月のイベント

- 2、31日 サイ特別イベント、2～31日 サイにちなんだ企画展
- 3日 園長ガイド (事前応募制)
- 9日 飼育体験イベント ～エサ編～ (事前応募制)
- 16日 ライオン「きぼう」の誕生日会
- 23、24日 ほねほねパズルイベント (事前応募制)



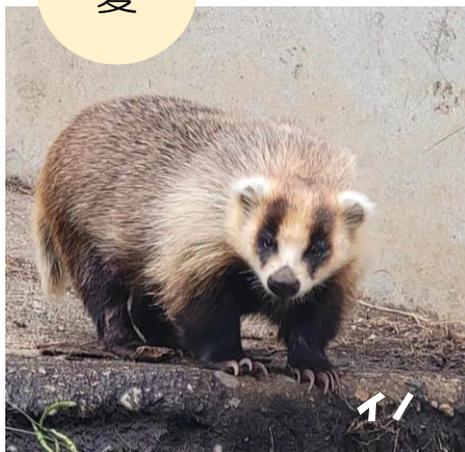
詳細はかみね動物園ホームページをご覧ください
または 0294(22)5586 まで

寒い日々が続きます。冷たい海風が吹いていることもありますので、動物園にご来園の際は暖かくしてお越しく下さい。



夏

夏と冬でこんなに違う!?



ニホンアナグマは、同じ個体でも夏と冬でこんなに見た目が変わります！
というのも、一部の地域では冬に冬眠をするアナグマ。冬眠しなくても食べ物が少なく寒い冬を乗り切るため、秋口にたくさん食べて体に脂肪を蓄えます。
この時期は運動量も少なくなり寝ている時間も多ですが、もっちり感のあるアナグマが見られるのは寒いうちです。

冬

